

2022年度 教学IRセミナー動画チャプターリスト

No.	テーマ	動画時間	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5
1	IRリサーチクエスチョンの作り方 1 現状分析からスタートする	10:12	0:00~ ■リサーチクエスチョンの重要性 ・「なんとなく分析」しても何も解決しない、解決すべき課題を明らかにすることが重要	3:12~ ■現状分析の出発点 ・ニーズ分析 ・問題点の抽出	5:26~ ■解決法と必要なデータ ・改善の方法は、追加、削除、移動、変更の4つ	6:51~ ■リサーチクエスチョンとしてまとめる ・まとめ方の例示	
2	IRリサーチクエスチョンの作り方 2 データマイニングからスタートする	7:56	0:00~ ■データマイニングの出発点 ・データマイニングとは	1:50~ ■使うデータ範囲と出力を決める ・どのようなデータを使うのか ・データマイニングの結果として分類・予測・関連性の抽出どれがしたいか	2:56~ ■RQとするために：機能からまとめる ・分類したい→対象と基準決める ・予測したい→発生確率を予測 ・関連性抽出→相関・可視化	4:25~ ■リサーチクエスチョンとしてまとめる ・まとめ方の例示	6:26~ ■教学IRシステムを確認
3	IRリサーチクエスチョンの作り方 3 仮説の議論からスタートする	9:47	0:00~ ■仮説検証のメリット ・調査前に結果を予測できる ・データの選択が容易 ・分析・報告がしやすい	1:25~ ■議論の出発点 ・仮説を作るには ・複数人の知恵を出し合う ・仮説を検証したと言うには妥当性と信頼性の確保	3:03~ ■仮説の立て方1, ウイル・オア・チョイス ・ボトムアップアプローチに適している ・理想案になる可能性	5:36~ ■仮説の立て方2, リニアモデル ・シンプルで分かりやすい ・トップダウンに適している ・関係性整理の難しさ ・柔軟性に乏しい	8:03~ ■リサーチクエスチョンとしてまとめる ・まとめ方の例示
4	IRリサーチクエスチョンの作り方 4 リサーチクエスチョンの候補ができれば	8:35	0:00~ ■教学IR推進室への依頼：5つのポイント	1:04~ ■事前の相談 ・すでに同じような分析がないか ・分析に用いるデータがあるか ・分析対象は適切か ・気軽に相談を	2:56~ ■分析の依頼 ・依頼書により発注 ・DL場所	4:39~ ■締切明示・出来上がリイメージ ・最短で3週間必要 ・報告のイメージを具体的に	6:36~ ■思わぬ結果への対応 ・想定外の結果、仮設の全否定→原因を探る必要 ・事前にそのような結果に備えておく→追加発注・条件の変更…
5	アンケート調査のポイント1 調査結果の見方	9:44	0:00~ ■目の付け所 ・どのようなアンケートなのか ・何のために分析しているのか ・可視化された部分の意味すること	2:15~ ■目の付け所1, アンケート自体 ・調査の規模、対象、調査期間、有効回答率 ・目的、実施方法、結論	4:51~ ■目の付け所2, 分析課程 ・分析目的と調査目的との整合性 ・分析方法→データ水準との関係 ・データをどのようにまとめているか→代表値・分布	6:44~ ■目の付け所3, 可視化 ・可視化された部分は何を強調 ・誰に見てほしいのか ・可視化の方法 ・可視化の目的	8:13~ ■「こんな分析もできるのでは？」という視点 ・報告書・レポートなど：読み流してしまうと改善や発見につながらない
6	アンケート調査のポイント2 既存のアンケートを改善する	12:00	0:00~ ■既存のアンケートを修正する ・修正理由 ・修正対象 ・修正レベル	2:21~ ■実施方法の修正 ・謝礼の有無、紙orオンライン、特定の日or中・長期間、匿名or実名、多言語or一言語	6:27~ ■質問方法の修正 ・可能な分析方法から修正 ・表現の工夫 ・必須回答項目と回答しなくても良い項目	9:15~ ■自由記述の可能性と問題点 ・アンケートの弱点をカバー ・テキストマイニングの発達 ・入力に時間、文章力の影響、質問があいまいだと回答も意味不明	
7	アンケート調査のポイント3 新しいアンケートを作る	13:23	0:00~ ■アンケート作成は「逆向き設計」で ・調査目的にさかのぼって作っていくのが効率的	1:51~ ■何を調べるか ・WhatとWhyを明らかにする	3:19~ ■どの程度調べるか ・To what degreeの決定	8:31~ ■どのように調べるか ・When, Where and Howの決定	10:15~ ■最後に個々の質問項目をチェック ・ダブルバーレル、表現の等距離性、心理量と選択肢の数値の一致